

令和5年11月20日
岬町議会
議長 竹原伸晃

岡山県3市町村 視察研修報告書

1) 視察目的

先進的な取り組みを知り理解することで、岬町で取り組みを進める

美咲町 … 議会改革・議会広報広聴の取り組み

津山市 … 移住定住促進の取り組み

西粟倉村 … ゼロカーボンシティの取り組み

2) 実施日・行程

令和5年11月6日(月) チャーターした小型観光バスにて移動

8:00~12:30 集合・移動(中国自動車道など)

12:30~13:30 「かめっち食堂」にて昼食

13:40~13:50 美咲町物産センターにて買い物

14:00~15:30 美咲町議会での研修

16:00~16:40 柵原義務教育学校(建設中)を現場見学&聞き取り

17:00~19:30 夕食(民宿やなはらさんにて)

~20:00 津山市にて宿泊



運転手:山内さん

令和5年11月7日(火) チャーターした小型観光バスにて移動

10:00~11:30 津山市にて研修

11:40~11:50 津山市物産センターにて買い物

11:50~13:50 移動(中国自動車道・鳥取道) 昼食(あわくらんど)

14:00~15:30 西粟倉村役場にて研修

15:40~16:00 西粟倉村発熱工場と小水力発電所を見学

~20:00 移動(中国自動車道など)・解散

3) 視察費用

公費負担(バス借り上げ、燃料費・高速道路費・宿泊費用)

公費負担外 … 6日昼食・夕食、7日昼食



6日昼食の「かめっち食堂」

4) 出席者

岬町議会議員 12名全員

竹原 松尾 谷地 大里 早川 奥野 中原 坂原 道工 谷崎 出口 瀧見

議会事務局 増田局長 池田係長

5)視察① 岡山県久米郡美咲町 (議会改革・議会広報 及び 義務教育学校)

●議会広報・議会改革

美咲町の取組み発表

岬町の取組み発表(谷地議会改革副委員長・松尾議会広報広聴委員長)

第17回マニフェスト大賞の躍進賞を受賞された議会は、たくさんを見習う取組みがあり
まずは、私たち岬町議会も何かの目標を持って改革に取り組む必要があると確信した。



●建設中の柵原学園(義務教育学校) 令和6年度より開始 小学校2校、中学校1校を統合する計画



★美咲町視察に参加した感想★

令和2年より友好交流都市協定を結んで、合同で勉強会をするのは3回目(以前は美咲町、岬町で実施)となり、本年岬町が選挙でメンバーが替わり、初めての方もいて、交流の意味も兼ねた研修会でした。

美咲町の取組みを聞いていると、どれもアイデアが出されていて、1つ1つの積み重ねがこのような結果になっているのだと感じました。

岬町も改革はまだまだ道半ばであり、できることから進めるのも良いとは思いますが、先に改革の根幹である「議会基本条例」の制定に向けて取り組むことが大切ではと、どこかの機会に発言したいと思っています。

また、小中一貫の義務教育学校についても大変興味深い内容でした。岬町も来たるべき日に向けて準備は必要と思います。

美咲町報告以上



6)視察② 岡山県津山市 (移住定住促進事業) 津山市役所にて研修
中島議長にご挨拶いただきました。 議会事務局:竹谷主任、近藤主査
説明担当:産業経済部平次長(仕事・移住支援室室長)、小椋主幹

●津山市の取組み

無料職業紹介センター、IJU ターン就職活動交通費助成
お試し住宅、津山市住まい情報バンク、空き家活用定住促進事業補助金
移住定住ポータルサイト「LIFE 津山」、SNS での発信
移住体験ツアー、トライアルワーク、地域体験プログラム、移住者交流会の実施

竹原 Q 移住者が相談あるのは津山市の都会か田舎か？ A 相談あるのは田舎の方

竹原 Q 津山市の議員で移住してきた方はいる？ A いないが、結婚で夫の実家に移住した者

竹原 Q 議会で移住政策に特別な対応はある？ A 特になし



上:津山市役所庁舎3階委員会室にて研修の様子

下:津山市役所玄関前にて記念撮影



★津山市視察に参加した感想★

岡山県で岡山市、倉敷市に次ぐ津山市も「18歳の崖」の克服に向け、色々なメニューがありました。

それぞれの政策は別々のよう
で関連していて、1人(1組)の移住
を丁寧に対応しており、また、働く
場所の確保も必要で、流入を増加
させるには若者世代が引っ越して
これる環境作りも大切だと思いま
した。

職員皆さまの熱い思いも感じら
れ、今後の展開も見させていただ
き、岬町でも取り入れるべき物
を見つけたいと思います。

津山市報告以上

7)視察③ 岡山県英田郡西粟倉村 (ゼロカーボンシティ事業) 西粟倉村役場にて研修
説明(案内):産業観光課 白旗主任

●西粟倉村の取組み 地域課題解決のための「百年の森林事業と脱炭素の取組」

「百年の森林事業」とは、山の整備は自治体で、製品は民間で(林業の6次化)
長期施業管理委託契約:個人所有者が村へ山林管理を一時的に委託する契約

- 契約森林は補助金や交付金の金銭的なメリットを受けられる
- FSC 認証に加入することで材に付加価値をつけることができる
- 販売収益は施業費用等に活用される
- 丸太販売収益は村1/2、所有者1/2で折半

これまでの脱炭素の取組み 水力・太陽光・バイオマス事業の展開 (お勧めは小水力発電)

設備の導入 薪ボイラー・チップボイラー・木質バイオマス・木くず焚きボイラー

2030年には電気を0にを目標としている(脱炭素先行地域対象エリアの編成)



上:西粟倉村役場庁舎会議室にて研修の様子

下:熱を起こして近隣の施設に送る装置を減額する様子



説明の白旗さんは再任用職員



★西粟倉村視察に参加した感想★

一言でいうと、担当の白旗さんの熱意がゼロカーボンを支えているとの印象で、住民数が岬町の1/10の村でここまでできるとは驚きの連続でした。

政府の補助金や交付金をうまく使っていると感じていますが、何より関連する企業の連携が見事です。1つ1つの役割分担がしっかりと明記され、村としっかり連携して進めておられました。

白旗さんの提案は岬町でも小水力発電を出来るのでは?とのこと、機会を見て地元電気事業者と検討していきたいと思いました。

